

避難所への持参品



以下の例を参考に、避難する際や停電・断水などの際にご自身が必要なものは、日頃から備えておきましょう。

非常用持ち出し品例

- 応急医療品 (常備薬、マスク、手指消毒液、体温計 など)
- 飲料水・非常食 (乾パン、缶詰 など)
- 貴重品 (現金、キャッシュカード、預貯金通帳、運転免許証、健康保険証、印鑑 など)
- その他 (懐中電灯、衣類・タオル、スリッパ など)

非常用備蓄品例

- 飲料水 (1人1日3ℓ程度を目安)
- 燃料 (卓上・携帯こんろ、固形燃料 など)
- 非常食品 (乾パン、缶詰、レトルト食品 など)
- その他 (ポリタンク、毛布、寝袋、トイレトペーパー、バケツ、やかん、ろうそく、ロープ、スコップ、ビニールシート、ガムテープ、ペットフード など)

※各家庭の在庫状況を確認し、必要な分だけ購入するようにしましょう。

防災情報の収集手段

防災情報を活用しましょう

- 「佐世保市防災マップ」の活用
市内の避難場所や目標となる公共施設などを示したものです。市ホームページにも掲載しています。
- 「させば街ナビ」佐世保市ハザードマップ・避難所マップ
地図情報検索サービス「させば街ナビ」で、電子地図を利用して洪水ハザードマップと土砂災害ハザードマップを確認できます。避難所マップでは避難所の場所や開設・閉鎖情報を確認できます。



ハザードマップ・避難所マップは右の画像からどうぞ



- 防災行政無線
防災・避難情報を放送します。放送内容は電話 (☎ 0180-999-987) や市ホームページ、NBC データ放送、災害情報配信サービスなどでも確認できます。

災害時の連絡先

- 崖崩れ、落石等の土砂災害⇒河川課 ☎ 24-1111
- 道路に関する災害⇒道路維持課 ☎ 24-1111
- 上記以外の災害⇒防災危機管理局 ☎ 24-1111
- 火災・救急・救助⇒消防局指令課 ☎ 119

問い合わせ 防災危機管理局 ☎ 24-1111

宮村川・江迎川の洪水ハザードマップを配布しています

近年、全国各地で集中豪雨による浸水被害等が発生しているように、極端な雨の降り方が顕在化しており、今後気象変動によって大雨の発生頻度が増加することが懸念されています。

本市では、万が一の洪水に備え、宮村川と江迎川で想定される最大規模雨量に対し、洪水による浸水が予想される範囲や深さ、洪水時の避難場所、避難時の危険箇所などを示した洪水ハザードマップを作成しました。いざというときに適切な行動が取れるよう、日頃からこのマップを活用し、避難場所や危険箇所などを確認しましょう。

※各ハザードマップは6月に該当地区へ世帯配布するほか、河川課、各支所で配布しています。



宮村川洪水ハザードマップ (令和2年6月)



江迎川洪水ハザードマップ (令和2年6月)

☎河川課 ☎ 24-1111

風水害・地震災害に備えましょう

近年、全国各地で集中豪雨等による多くの被害が発生しています。日頃から防災気象情報に気を配り、テレビやラジオ、インターネットなどで最新の情報を収集し、災害に備えましょう。

風水害への日頃の対策

- 日頃から危険な場所などを調べ、災害時の避難場所や安全な避難経路などを確認しましょう
- 多量の降雨、土砂災害の前兆現象など周囲で異変を発見したら早めに避難しましょう

土砂災害の前兆現象

- 崖崩れ⇒崖からの水が濁る、小石が落ちてくる、音が出る、崖に亀裂が入る など
- 地すべり⇒地面にひび割れができる、井戸や沢の水が濁る、崖や斜面から水が吹き出す など
- 土石流⇒山鳴りがする、雨が降り続けているのに川の水位が下がる、川が濁り流木が見られる など

早めの避難を

土砂災害の多くは雨が原因で発生します。降雨量が1時間に20mm以上または降り始めから100mm以上になったら十分な注意が必要です。

- 高齢者などに隣近所で声を掛け合い、災害時には一緒に避難しましょう。
- 可能な場合は、親戚や知人の家などへの避難も検討しましょう。
- 避難場所、非常用持ち出し品の保管場所、非常時に落ち合う場所などを家族で確認しましょう。

地震への日頃の対策

- 寝室には背の低い家具を置き、家具は留め金などで固定しましょう

行動の5つのポイント

- ①丈夫な机やテーブルの下に隠れ、身の安全を確保する
- ②揺れがおさまったら、こんろの火を消し、元栓を閉める。火が出ていたら初期消火をする
- ③ドアや窓を開けて逃げ道をつくる
- ④外に出るときは瓦やガラス片などの落下物や、ブロック塀の倒壊に注意する
- ⑤ラジオや携帯電話で正しい情報を入手し、安全な手段で避難する

地震による津波に注意

津波のスピードは非常に速いため、海岸近くにいるときはすぐに高い場所に避難してください。また、テレビ、ラジオ、携帯電話などで正しい情報を手に入れ、落ち着いて素早く行動しましょう。

「警戒レベル」に応じて適切な行動を

災害の危険度の高まりを直感的に分かりやすくし、適切に避難行動を取れるようにするため、自治体による避難情報の発令や気象庁による防災気象情報の発表の際には「警戒レベル」を用いてお知らせします。

警戒レベルに応じた取るべき行動

警戒レベル	避難情報等	市民の皆さんが取るべき行動
5	災害の発生情報	すでに災害が発生している状況であり、命を守るための最善の行動を取る
4	避難勧告 避難指示 (緊急)	速やかに避難先に避難する 避難場所までの避難が危険と思われる場合は、近くの安全な場所や自宅内のより安全な場所へ避難する
3	避難準備・高齢者等避難開始 (避難準備情報)	避難に時間を要する人 (高齢の人、障がいのある人、乳幼児など) とその支援者は避難する その他の人は避難の準備を整える
2	大雨・洪水注意報	避難に備え、ハザードマップなどで自らの避難行動を確認する
1	早期注意情報	防災気象情報など最新情報に注意し、災害への心構えをする